



学校案内2027

日本大学歯学部

附属歯科 衛生専門学校

Dental Hygiene School

女子・昼間3年制



附属歯科 技工専門学校

Dental Technician School

男女共学・夜間3年制



附属歯科技工専門学校

男女共学・夜間3年制

Dental Technician School

歯科医師のよきパートナーとなる スペシャリストを育成

本校は、歯学部附属の教育機関という特徴を活かし、歯科技工士の資格を得るために必要な高度専門知識と技術を習得できます。技術・技能教育の一環として歯学部附属歯科病院と連携し、臨床的技工を製作し、臨床に直結した実習を実施しています。卒業時には称号(専門士)の付与のみならず、国家公務員の受験資格も与えられます。多くの可能性を秘めた本校で勉強し、国民の健康に貢献できる歯科医師の大切なパートナーとなることを期待しております。

本校の特徴

学校制度について

歯科技工専門学校は、夜間3年制の学校です。御茶ノ水という好立地にあり18:00から授業が行われるので、登校までの時間を趣味や仕事に活用しながら学ぶことができます。

授業内容について

本校での講義と実習は、日本大学歯学部教員と経験豊富な専任教員が一体となって行っております。日本大学歯学部附属歯科病院と連携し、臨床的技工も製作するため、卒業後にすぐに現場で実力が発揮できます。さらに、CAD/CAM、スポーツ歯科や顎顔面補綴等の修学も行っています。

学費について

医療系の専門学校ですが他業種の専門学校と同等程度の学費です。学費は近隣の歯科技工士学校の2/3~1/2程度のため経済的にも無理なく国家試験の取得を目指せます。

附属歯科技工専門学校

理念

医療人としての主体性を認識し、歯科技工の国際化に対応できる世界的視野で物事を捉え、本校で学んだ高度な技術を生かすため「自主創造」の精神を醸成し、尊重する。

目標

- 歯科技工士としての専門知識や技術を備え、広い視野を持ち人間性豊かな教養を身につける。
- 生命を尊重する心と高い倫理観を養う。
- 歯科医療と歯科技工の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備える。

教育目標達成のための3つの教育ポリシー

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

本校は、以下に該当する入学者を受け入れる。

1. 歯科技工士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者。
2. 本校で学んで行くうえで必要な基礎知識と技能を有し、卒業後も生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

1. 本校は、歯科技工士資格の取得を目指す社会人等を対象とし、夜間課程を設置している。
2. 本校の専門課程は、歯科技工士養成所指定規則および歯科技工士養成所教授要綱に基づき、歯科技工士としての知識と技術を確実に修得できることを前提とした教育課程を編成している。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

本校は、所定の単位数(時間数)を修得し、以下に該当する者に専門士(医療専門課程)の学位を授与する。

1. 本校の理念に基づく歯科技工の専門知識と技術を備えている。
2. 幅広い教養と人間性豊かな歯科技工士としての資質を備えている。
3. 生命を尊重する心と高い倫理観を有している。
4. 歯科医療と歯科技工の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備えている。
5. 歯科技工業務等を通して、歯科診療施設受診者の健康保持増進に貢献できる。

3年間の流れ

1年次

口腔及び、歯科材料や機械器具などについて学び、歯科技工士としての基礎知識を身につける。

カリキュラム

- 歯科理工学
- 口腔顎顔面解剖学
- 有床義歯技工学 など

2年次

実習主体の授業になり、より専門的な知識や実践的な技術を身につけ、応用力を養っていく。

カリキュラム

- 歯冠修復技工学
- 歯科技工管理学
- 矯正歯科技工学 など

3年次

習得した理論・技術を基本とし、歯科技工士としての更なる技術アップを図り、国家試験合格を目指す。

カリキュラム

- 歯科技工学演習
- 歯科技工学実習 など

いま、新しい力が求められている歯科技工士を目指してみませんか？

歯科技工士は、歯科医師・歯科衛生士とともに、人々の健康と生活の質を支える歯科医療に欠かすことのできない専門職です。歯は一度失うと再生することがなく、食べる喜びや自然な笑顔を取り戻すためには、精密に作られた補綴装置が必要となります。その装置を患者さん一人ひとりに合わせてオーダーメイドで製作する専門家が歯科技工士です。

現在、多くの歯科医院では高度な製作設備を院内に持たず、詰め物や被せ物、義歯などの製作を歯科技工士に依頼しています。つまり、歯科技工士の存在なくして現代の歯科医療は成り立ちません。優れた技術を持つ歯科技工士は、歯科医師にとって欠かすことのできない医療パートナーとして、常に高い需要があります。

一方で、就業歯科技工士数はこの25年間で約15%も減少するとともに、50代以上の就業者の割合も半数を超えて高齢化も進んでいます。さらに近年はCAD/CAMをはじめとするデジタル技術の導入により、歯科技工の世界は大きな変革期を迎えています。今まさに、新しい時代を担う新たな力と新しい発想を持った人材が求められているのです。

本校は歯学部附属校としての強みを活かし、臨床に直結した教育環境のもと、最新のデジタル技術と確かな基礎技能の双方を学ぶことができます。また、都内唯一の設置である夜間課程として、高校卒業後すぐに専門技術を身につけたい方から、社会人として新たなキャリアに挑戦したい方まで、幅広い学びの機会を提供しています。

本校で確かな技術と誇りを身につけ、未来の歯科医療を支える一員として新たな一歩を踏み出してみませんか。皆様のご入学を心よりお待ちしております。



附属歯科技工専門学校
大山 哲生 校長

日本大学歯学部 科目等履修生制度

日本大学歯学部には、口腔保健学を主たる専攻分野とする「科目等履修生」の制度があります。歯学部の学科目を履修することにより、学士として必要な単位を取得できます。所定の単位を取得後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に申請を行い、審査に合格すると、以下の学士号が授与され、大学を卒業した人と同等の学位を取得できます。また、学士号を取得することで、卒業後の就職先の範囲が広がる可能性が高まります。

学士(口腔保健学)口腔保健技工学専攻 歯科技工士養成課程卒業生等が対象

先生 voice



今井 先生

本校では、歯学部の教授陣をはじめ、本校OBで臨床経験豊富な非常勤講師を加え、教育にあたっています。伝統校で国家資格を取得して、歯科のチーム医療の一員として、国民の健康に貢献しませんか？

1日の流れ



18:00 ~ 18:50

授業(座学)

歯学部の歯科医師と専任教員が講義を担当し、より専門的な知識が学べます。



19:00 ~ 21:15

授業(実習)

実習室に移動して実習スタート。現役の歯科技工士の先生が直接お手本を見せてくださり、とても勉強になります。



21:15 ~

下校, 夕食, 就寝

利便性の良い場所にあるので、安心して帰宅できます。

在校生 voice



患者さんの笑顔を支える 歯科技工士を目指して

附属歯科技工専門学校3年 郁 拓真 さん

歯科技工士を目指したきっかけは、高校の学校相談会で仕事内容を知り、ものづくりを仕事にできることや、患者さんの笑顔を取り戻せる点に魅力を感じたことです。本校を選んだ理由は、歯学部附属で現役の歯科医師から指導を受けられることや、夜間制で昼間の時間を有効に使えることです。さらに文化祭や球技大会などのイベントも充実し、楽しい学生生活を送れています。入学当初は友人関係に不安がありましたが、授業を通じて打ち解け、特に球技大会をきっかけに友達や先輩と仲良くなれました。授業は難しい部分もありますが、先生方の丁寧な指導のおかげで安心して学んでいます。充実した環境の中で、歯科技工士としてのスキルをしっかり身につけられると実感しています。

在校生 voice



働きながら学ぶ環境で 実践的なスキルを磨く

附属歯科技工専門学校3年 小久保 未来 さん

職場で歯科技工士という仕事を知り、ものづくりを活かせる点に魅力を感じ目指しました。働きながら学べる環境やアクセスの良さが決め手となり本校に入学しました。本校は歯学部附属のため、歯科医師の先生から臨床経験を交えた講義を受けられることが大きな強みです。技工士としての知識だけでなく、歯科医師の視点や現場での実践的な考え方を学べるため、将来の仕事に直結する学びが得られます。歯科の知識は膨大ですが、先生方が丁寧に指導し、わからないことはすぐ相談できる環境が整っています。学年を超えた交流も活発で、仲間と支え合いながら技術を磨けることも魅力です。卒業後は技工技術を高め、患者さんを第一に考えられる歯科技工士を目指したいです。

卒業生 voice



卒業後も続く学びと 仲間のつながりが支えに

2024年度卒業 平井 志奈 さん

就職を見据え資格取得を考えていた際に歯科技工士という職業を知り、もともと手を動かしてものを作ることが好きだったことから目指すようになりました。本校の強みは、在学中はもちろん卒業後も希望すれば技工の練習ができ、先生から指導を受けられる点です。卒業後も実践的な技術を磨ける環境があることは、大変心強くと感じています。クラスは年齢層が幅広く、現役の学生だけでなく年上の方も多かったため、さまざまな価値観に触れながら学ぶことができました。卒業後も同級生と交流が続いており、仕事や働き方について相談できる仲間がいることが大きな支えになっています。異なる世代の人と共に学ぶ経験は、社会に出た今でも役立っていると感じています。

入試日程

一般選抜

第1期	出願期間	令和8年11月 4日(水)~11月18日(水)	第2期	出願期間	令和9年2月10日(水)~2月24日(水)
	試験日	令和8年11月28日(土)		試験日	令和9年3月 6日(土)
	合格発表	令和8年12月 4日(金) 13時		合格発表	令和9年3月12日(金) 13時
募集人数	一般選抜, 総合型選抜合わせて15名	試験内容	作文, 面接	入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 文部科学大臣の指定した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む)で、令和9年3月31日までに18歳に達する者 ④ 外国人留学生を除く				

学校推薦型選抜(附属高等学校等)

出願期間	令和8年10月 1日(木)~10月15日(木)
試験日	令和8年10月24日(土)
合格発表	令和8年11月 2日(月) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(附属高等学校等, 指定校制, 公募制), 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 附属高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

学校推薦型選抜(指定校制)

出願期間	令和8年10月 1日(木)~10月15日(木)
試験日	令和8年10月24日(土)
合格発表	令和8年11月 2日(月) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(附属高等学校等, 指定校制, 公募制), 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 本校が指定した高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

学校推薦型選抜(公募制)

出願期間	令和8年10月 1日(木)~10月15日(木)
試験日	令和8年10月24日(土)
合格発表	令和8年11月 2日(月) 13時
募集人数	学校推薦型選抜(附属高等学校等, 指定校制, 公募制), 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を令和8年3月卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者 ④ 外国人留学生を除く

総合型選抜

エントリー	エントリーシートを進学相談会、学校見学にて配布			
エントリー受付期間	第1期: 令和8年 6月8日(月)~ 8月4日(火) 第2期: 令和8年11月4日(水)~12月4日(金)	アドミッション・ポリシーによる選考日程(体験実習・体験授業)	第1期: 令和8年 7月 2日(木), 7月28日(火), 8月19日(水) 第2期: 令和8年11月24日(火), 12月17日(木)	15時00分~17時00分
願書受付	第1期: 令和8年 9月 1日(火)~9月15日(火) 第2期: 令和9年 1月12日(火)~1月26日(火)	合格判定会議(書類選考)	第1期: 令和8年 9月28日(月) 11時~(予定) 第2期: 令和9年 2月 6日(土)	
合格通知	第1期: 令和8年10月 5日(月) (郵送) 第2期: 令和9年2月15日(月) (郵送)			
募集人数	一般選抜, 総合型選抜合わせて15名	入学検定料	20,000円	
出願資格	① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者 ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者(高等学校卒業程度認定試験の合格者)及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者 ④ 外国人留学生を除く			
アドミッション・ポリシー	① 歯科技工士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者 ② 本学で学んで行く上で必要な基礎知識と技能を有し、卒業後も生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者			
出願要件	本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者			

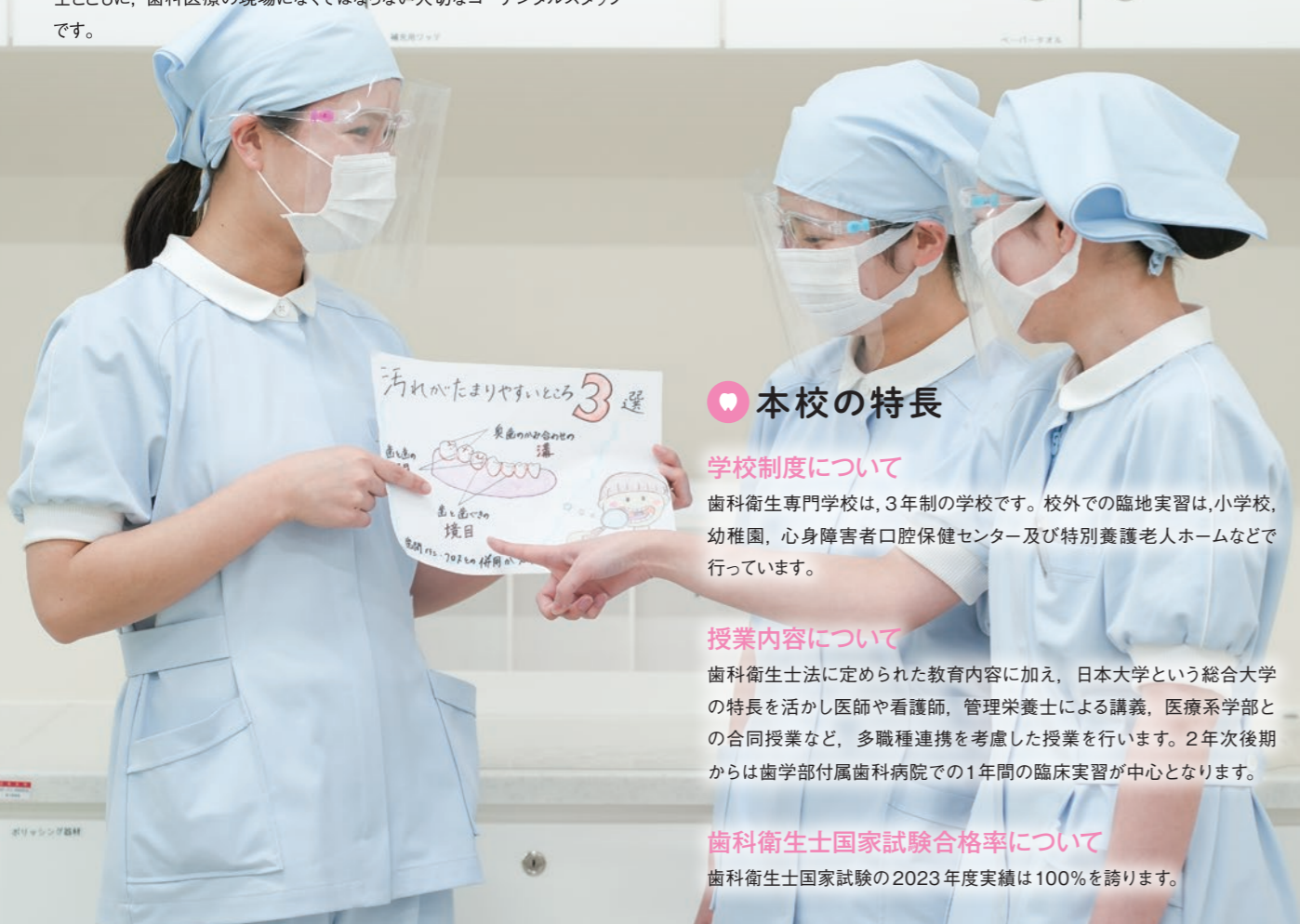
附属歯科衛生専門学校

女子・昼間3年制

Dental Hygiene School

歯科医師のよきパートナーとなるハイジニストを育成

歯科衛生士の業務には歯科予防処置、歯科保健指導及び歯科診療補助の3つがあり、歯科医療と歯科保健の分野で重要な役割を担っています。歯科医療の多様化、高度化が進むなかで歯科衛生士は歯科技工士とともに、歯科医療の現場になくてはならない大切なコ・デンタルスタッフです。



本校の特長

学校制度について

歯科衛生専門学校は、3年制の学校です。校外での臨地実習は、小学校、幼稚園、心身障害者口腔保健センター及び特別養護老人ホームなどで行っています。

授業内容について

歯科衛生士法に定められた教育内容に加え、日本大学という総合大学の特長を活かし医師や看護師、管理栄養士による講義、医療系学部との合同授業など、多職種連携を考慮した授業を行います。2年次後期からは歯学部附属歯科病院での1年間の臨床実習が中心となります。

歯科衛生士国家試験合格率について

歯科衛生士国家試験の2023年度実績は100%を誇ります。

最先端の環境で、幅広く活躍できる歯科衛生士を目指す

歯科衛生士は国民の歯・口腔の健康を守る職業です。近年、口腔内の健康が全身の健康、さらに寿命にまで影響していることがわかり、歯科衛生士は口腔内だけでなく全身疾患の予防になくてはならない存在となっています。さらに、幼児から高齢者までの歯科保健指導にあたり、要介護者の訪問口腔ケアなど、幅広い活躍が求められています。歯科衛生士は国家資格を取得します。人生には結婚、出産、育児、介護など様々なライフイベントがありますが、これらライフイベントを機に仕事を辞めたり、社会復帰が難しくなるケースが多い中、歯科衛生士は仕事との両立や社会復帰がしやすい職業の一つといえるでしょう。

本校は昭和33年に創設された長い歴史をもち、例年15倍以上の求人数を誇っています。また、2018年に新病院がスタートした日本大学歯学部の附属校であるため、先進的医療機器を用いた最先端の環境で学ぶことができます。教員も本校専任教員だけでなく、日本大学歯学部の大学教員で構成されており、様々な分野の専門知識や技術を学ぶことができます。是非、これら恵まれた環境で学ぶことができる日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校で、歯科衛生士を目指す同じ目標を持った仲間と一緒に、毎日楽しく学んでいただきたいです。



附属歯科衛生専門学校
岡田 明子 校長

附属歯科衛生専門学校

理念

医療人としての主体性を認識し、歯科衛生の国際化に対応できる世界的視野で物事を捉え、本校で学んだ高度な技術を生かすため「自主創造」の精神を醸成し、尊重する。

目標

- 歯科衛生士としての専門知識や技術を備え、臨床実習、保健指導を通して、患者や社会が求める人間性豊かな教養を身につける。
- 生命を尊重する心と高い倫理観を養う。
- 歯科医療と歯科衛生の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備える。



教育目標達成のための3つの教育ポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本校は、以下に該当する入学者を受け入れる。

1. 歯科衛生士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者。
2. 本校で学んで行くうえで必要な基礎知識と技能を有し、生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 本校は、歯科衛生士資格の取得を目指す学生・社会人等を対象としている。
2. 本校の専門課程は、歯科衛生士養成所指定規則および歯科衛生士養成所指定要領に基づき、歯科衛生士としての知識と技術を確実に修得できることを前提とした教育課程を編成している。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本校は、所定の単位数を修得し、以下に該当する者に専門士（医療専門課程）の学位を授与する。

1. 本校の理念に基づく歯科衛生士の専門知識と技術を備えている。
2. 幅広い教養と人間性豊かな歯科衛生士としての資質を備えている。
3. 生命を尊重する心と高い倫理観を有している。
4. 歯科医療の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、生涯にわたって学習と研鑽をする探求心を備えている。

3年間の流れ

1年次

人体や歯・口腔の機能と構造について学び、歯科衛生士としての基礎知識を身につける。

カリキュラム

- 解剖学
- 生理学・口腔生理学
- 歯科衛生学総論
- 医療情報リテラシー など

2年次

臨床科目主体の授業となり、より専門的な知識を学ぶ。また、臨床実習を経てより実践的な技術を身につける。

カリキュラム

- 口腔外科学
- 歯科保健予防技術論
- 歯科補助技術論
- 臨床実習 など

3年次

臨床実習や学外実習で、応用力や実践力を高め国家試験合格を目指す。

カリキュラム

- 臨床実習
- 地域保健実習
- 特別研究
- 総合口腔保健学演習 など

1日の流れ



8:00 ~ 9:00

登校
友だちと楽しくおしゃべりしながら登校しています。



9:00 ~ 11:50

授業(座学)
歯学部先生が教えてください。



11:50 ~ 13:00

昼休み
教室でお弁当を食べる時もあるが、外でランチをすることも。御茶ノ水にはおいしいランチを食べられる場所が沢山あります。



先生 voice
矢野 先生

担任制をとっており、通常3年間同じ先生が担任を受け持ちます。先生が身近な存在であるため、いつでも気軽に相談できます。歯科衛生士として、そして女性として、大きく成長する3年間を私達と一緒に過ごしませんか？



13:00 ~ 15:50

授業(実習)
幼稚園や小学校に健康教育に行きます。楽しく健康を学べるような教材を作ります。



患者さんの健康を大切に考えながら、実習には責任を持って取り組んでいます。



15:50 ~

放課後(部活動・アルバイト)
放課後は友達とおしゃべりした後、部活動へ参加します。部活動のない日はアルバイトをしています。

在校生 voice



成長を実感できる 充実した環境

附属歯科衛生専門学校2年
渡邊 夢琉 さん

歯科衛生士として働く叔母の勧めをきっかけに、国家資格を持つ専門職として、長く活躍できる歯科衛生士を目指すことを決めました。親戚に本校の卒業生がいたこと、さらには施設が新しく学習環境が整っている点に魅力を感じ、本校を選びました。

入学後は、レポートや小テストに向けて計画を立て、期限から逆算して行動する力が身についたと感じています。「歯科衛生士になる」という明確な目標が、日々の学習への意識を高めてくれます。また、実習やグループワークを通して、周囲に気を配りながら協力して取り組む姿勢も自然と身につけていると思います。

実習は決して楽なことばかりではありませんが、仲間と助け合いながら乗り越える経験は、大きな自信につながっています。御茶ノ水は飲食店も多く、実習後の良い気分転換になる場所が多いため、学びと生活のバランスが取りやすいです。

将来は、咀嚼や嚥下に困難を抱える方の支援に関わり、スケーリングなどの臨床技術を磨きながら、明るく親しみやすい雰囲気でお客さんと信頼関係を築ける歯科衛生士になることを目指しています。ここで過ごす日々が、確かな専門性、そして人としての成長につながっていると実感しています。

受験生へメッセージ
話しやすい先生ばかりで気軽に質問できる雰囲気があり、座学も実習も充実した学びができます。授業の質、実習環境、通いやすい立地まで、すべてが成長を後押ししてくれる学校です。ぜひ一度足を運んで、実際の雰囲気を感じてください。

卒業生 voice



厳しい指導を乗り越え 今がある

2009年度卒業
本田 麻璃子 さん

高校1年生の進路相談の頃歯医者に通っており、歯科衛生士の仕事に興味を持ったことが最初のきっかけです。歯科衛生士は国家資格で専門性を身につけることができ、就職に困らないことに魅力を感じました。また本校は日本大学の附属であること、埼玉の自宅から通えることが学校選びのポイントでした。

先生方は私たちが社会に出て困ることがないよう、実習での指導はとて厳しく大変なこともありましたが、クラスの人と協力しあって放課後も実習の練習をしたり、先生方も忙しい中私たちの指導に付き合ってくれるなど、恵まれた環境で勉強と実習に集中した3年間を過ごすことができました。

現在は日本大学附属歯科病院で歯科衛生士として働いて17年になります。大学病院は町の歯科医院よりも専門性が高く、スポーツ歯科など専門性に特化した科に配属されることがあるため、今後はより多くの専門性認定の取得を目指します。また地域医療についての啓蒙活動も進めていきたいです。

この学校は厳しいこともたくさんありますが、病院も新しくなり実習しやすい恵まれた環境です。先生方を信頼して仲間と充実した学生生活を過ごしてください。

入試日程

■ 一般選抜	
第1期	出願期間 令和8年11月 4日(水)～11月18日(水) 試験日 令和8年11月28日(土) 合格発表 令和8年12月 4日(金)13時
第2期	出願期間 令和9年2月10日(水)～2月24日(水) 試験日 令和9年3月 6日(土) 合格発表 令和9年3月12日(金)13時
募集人数	一般選抜、総合型選抜合わせて20名
試験内容	総合基礎学力試験、面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 高等学校を卒業した者と同以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (3) 文部科学大臣の指定した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む)で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)	
出願期間	令和8年10月 1日(木)～10月15日(木)
試験日	令和8年10月24日(土)
合格発表	令和8年11月 2日(月)13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制)、 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 付属高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

■ 社会人選抜・自己推薦選抜	
第1期	出願期間 令和8年10月 1日(木)～10月15日(木) 試験日 令和8年10月24日(土) 合格発表 令和8年11月 2日(月)13時
第2期	出願期間 令和9年 1月12日(火)～1月26日(火) 試験日 令和9年 2月 6日(土) 合格発表 令和9年 2月15日(月)13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制)、 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ② 令和9年4月1日現在満19歳以上の者 ※本校(歯専)で社会人とは、次のいずれかに該当し、社会で活動、生活している人。必ずしも職業従事の有無は問いません。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は、これに準ずる者で文部科学大臣が指定した者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定試験に合格した者を含む) (5) 大学・短期大学に在籍、又は卒業した者 (6) 外国人留学生を除く

■ 学校推薦型選抜(指定校制)	
出願期間	令和8年10月 1日(木)～10月15日(木)
試験日	令和8年10月24日(土)
合格発表	令和8年11月 2日(月)13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制)、 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 本校が指定した高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者

■ 学校推薦型選抜(公募制)	
出願期間	令和8年10月 1日(木)～10月15日(木)
試験日	令和8年10月24日(土)
合格発表	令和8年11月 2日(月)13時
募集人数	学校推薦型選抜(付属高等学校等、指定校制、公募制)、 社会人選抜・自己推薦選抜合わせて20名
試験内容	面接
入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は、中等教育学校を令和9年3月卒業見込みの者 ② 本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者 ③ 高等学校長が特に推薦する者 ④ 外国人留学生を除く

■ 総合型選抜			
エントリー	エントリーシートを進学相談会、学校見学にて配布		
エントリー受付期間	第1期:令和8年 7月 6日(月)～ 7月24日(金) 第2期:令和8年11月24日(火)～12月11日(金) エントリーシート確認後、選考日程の通知	アドミッション・ポリシーによる選考日程(体験実習・面談)	第1期:令和8年 8月 4日(火) 第2期:令和8年12月19日(土) (選考において適性が認められた者に出席許可書を発送)
願書受付	第1期:令和8年 9月 1日(火)～9月15日(火) 第2期:令和9年 1月12日(火)～1月26日(火)	合格判定会議(書類選考)	第1期:令和8年 9月28日(月)11時～(予定) 第2期:令和9年 2月 6日(土)11時～(予定)
合格通知	第1期:令和8年10月 5日(月)(郵送) 第2期:令和9年2月15日(月)(郵送)		
募集人数	一般選抜、総合型選抜合わせて20名	入学検定料	20,000円
出願資格	① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者 ② 文部科学大臣の定めるところにより、高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者(高等学校卒業程度認定試験の合格者)及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 ③ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者 ④ 外国人留学生を除く		
アドミッション・ポリシー	① 歯科衛生士となる強い目的意識と意欲をもち、自己の目標を実現できるよう努力する者 ② 本学で学んで行く上で必要な基礎知識と技能を有し、卒業後も生涯にわたり学習と研鑽の意欲を持続できる者		
出願要件	本校での学修を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者		

卒業生の就職状況

本校の卒業生は全国の歯科医療機関（しよくほう）から囑望され、歯科医院（診療所を含む）・歯科技工所はもとより官公庁医療機関、私立歯科大学病院、大手企業の診療室、歯科関連企業などに就職しており、毎年100%の就職率を誇っています。また、現在では日本人の勤勉さ及び手先の器用さが買われて、海外で活躍している歯科技工士も多くなっています。

就職率 100%
求人倍率 約10倍

就職者の分布



学費について

学費等（令和8年度）

区分	1年次		2年次・3年次（各年次ごと）	
	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	300,000円	—	—	—
授業料	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
実習料	75,000円	75,000円	75,000円	75,000円
合計	625,000円	325,000円	325,000円	325,000円
年額	950,000円		650,000円	

その他費用（令和7年度参考）

区分	1年次	2年次	3年次
教科書	約48,000円	約6,500円	—
実習器材	約110,000円	約38,000円	約34,000円
B型肝炎ワクチン接種（希望者のみ）	約21,000円	—	—
合計	約158,000円	約44,500円	約34,000円

奨学金

日本大学歯学部佐藤奨学金（給付）

種別	年額	人数	対象
第1種奨学金	100,000円	2名	2・3年次

（人数は令和7年度の実績）

日本学生支援機構奨学金

種別	月額	人数	対象
第一種奨学金（無利息）	自宅通学者 53,000円	2名	1～3年次
	自宅外通学者 60,000円		
第二種奨学金（有利息）	20,000円～120,000円から選択	4名	

※年3%を上限とする変動金利（金額、人数は令和7年度のべ人数）

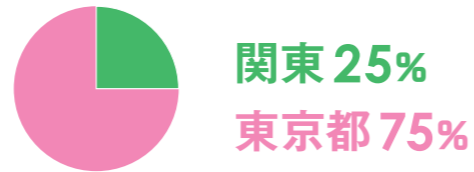
※日本大学歯学部附属歯科技工専門学校は、高等教育の修学支援新制度の対象校ではありません。（令和8年度）

卒業生の就職状況

3年次に各分野で活躍している卒業生による就職活動の体験談やアドバイスを聞く講義を実施しています。また、歯学部にご協力いただき、歯科医院の方を招き、直接交流できる機会を設けています。実際の現場の声を聞きながら、就職先選択に役立つ情報を得ることができます。

就職率 100%
求人倍率 約11倍

就職者の分布



学費について

学費等（令和8年度）

区分	1年次		2年次・3年次（各年次ごと）	
	前学期	後学期	前学期	後学期
入学金	250,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
実習料	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
施設設備資金	25,000円	25,000円	25,000円	25,000円
合計	650,000円	400,000円	400,000円	400,000円
年額	1,050,000円		800,000円	

その他費用（令和7年度参考）

区分	1年次	2年次	3年次
教科書	約84,000円	約38,000円	—
実習器材	約110,000円	—	—
B型肝炎ワクチン接種	約21,000円	—	—
諸経費	—	—	約50,000円
合計	約215,000円	約38,000円	約50,000円

奨学金

日本大学歯学部佐藤奨学金（給付）

種別	年額	人数	対象
第1種奨学金	100,000円	4名	2・3年次

（人数は令和7年度の実績）

日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校同窓会奨学金（給付）

種別	年額	人数	対象
同窓会奨学金	50,000円	2名	3年次

（人数は令和7年度の実績）

日本学生支援機構奨学金

種別	月額	人数	対象
給付	第I区分、第II区分、第III区分、多子区分	28名	1～3年次
第一種奨学金（無利息）	自宅通学者 53,000円	12名	
	自宅外通学者 60,000円		
第二種奨学金（有利息）	20,000円～120,000円から選択	13名	

※年3%を上限とする変動金利（金額、人数は令和7年度のべ人数）

年間行事予定

附属歯科技工専門学校



- 入学式
- 前期授業開始
- オリエンテーション
- 定期健康診断

- 球技大会

- 第1期総合型選抜エントリー受付
6月8日（月）～8月4日（火）

- 夏季休業開始
- 夏季休業終了

- 前期授業終了
- 前期試験（全学年）

- 後期授業開始
- 学校推薦型選抜（付属高等学校等、指定制、公募制）
- 社会人選抜第1期
- 駿技祭

- 第2期総合型選抜エントリー受付
11月4日（水）～12月4日（金）
- 一般選抜第1期

- 冬季休業開始

- 冬季休業終了
- 後期授業終了（第3学年）
- 後期試験（第3学年）

- 社会人選抜第2期
- 国家試験

- 後期授業終了（第1・2学年）
- 後期試験（第1・2学年）
- 卒業式
- 一般選抜第2期
- 社会人選抜第3期
- 国家試験合格発表

附属歯科衛生専門学校



- 入学式
- オリエンテーション
- 前期授業開始
- 校外オリエンテーション（第1学年）
- 定期健康診断

- 球技大会

- 歯みがき指導（幼稚園）
- 咀嚼学習指導（小学校）

- 総合型選抜エントリー受付
7月6日（月）～7月24日（金）
- 夏季休業開始

- 夏季休業終了

- 前期授業終了
- 前期試験（全学年）
- 校外研修（第3学年）

- 後期授業開始
- 学校推薦型選抜（付属高等学校等、指定制、公募制）
- 社会人選抜第1期
- 翔衛祭

- 戴帽式
- 臨床実習開始
- 一般選抜第1期

- 後期授業終了（第3学年）
- 総合型選抜エントリー受付
11月24日（火）～12月11日（金）
- 冬季休業開始

- 冬季休業終了
- 後期試験（第3学年）

- 後期授業終了（第1・2学年）
- 後期試験（第1・2学年）
- 社会人選抜第2期

- 一般選抜第2期
- 国家試験
- 卒業式
- 国家試験合格発表

令和8年度 進学相談会日程

	開催日	開催時間	場所
第1回	令和8年 5月 17日 (日)	10:00～13:00 予約電話 03-3219-8007 附属歯科技工専門学校 予約制 (当日参加も歓迎) 附属歯科衛生専門学校 完全予約制	専門学校講堂
第2回	令和8年 6月 7日 (日)		
第3回	令和8年 7月 5日 (日)		
第4回	令和8年 8月 23日 (日)		
第5回	令和8年 10月 31日 (土) 駿技祭 翔衛祭		大会議室

※ 10月31日(土)については、個別相談と学校見学のみ実施

附属歯科技工専門学校 開催内容

個別相談 Zoomでも行っています。

専門学校専任教員による親切でいねいな個別進学相談を受けることができます。上記日程以外でも、事前予約により、個別進学相談を受けられます。

資料配布

総合型選抜のエントリーシート、過去3年の作文課題を配布しています。またシラバス(年間授業計画)や教科書などの閲覧ができます。

校内施設見学・体験実習(第1～4回)

講堂や実習室などの校内見学及び、体験実習を行っております。

附属歯科衛生専門学校 開催内容

個別相談

専門学校専任教員による親切でいねいな個別進学相談を受けることができます。

資料配布

総合型選抜のエントリーシート、授業計画・過去入試問題などの各種資料が閲覧できます。

Zoomでの個別相談

遠方等の理由で学校に来られるのが、難しい場合はこちらも利用できます。(予約制となります。)

校内施設見学・体験実習(第1～4回)

体験実習…11:00～(1日1回)
校内見学…随時行っております。

個別学校見学を実施しております

歯科技工専門学校 ▶ 月曜日～金曜日(祝日を除く) 14:30～20:00(21:00終了)
土曜日 10:00～13:00(14:00終了)

歯科衛生専門学校 ▶ 月曜日～金曜日(祝日を除く) 14:00～17:00

ご希望の方は事前に電話予約をお願いします【専門学校事務局】03-3219-8007

アクセスマップ



- JR 中央線・総武線
- 東京メトロ 丸ノ内線
「御茶ノ水駅」下車……………徒歩2～5分
- 東京メトロ 千代田線
「新御茶ノ水駅」下車……………徒歩2分
- 都営地下鉄 新宿線
「小川町駅」下車……………徒歩7分

まことに恐れ入りますが、本学では敷地の事情から緊急車両及び搬入業者用の駐車場しかございませんので、あらかじめご了承ください。車で来校される方は近辺に有料駐車場がございますので、そちらをご利用ください。

〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13

【専門学校事務局】TEL:03-3219-8007 FAX:03-3219-8316

Mail:de.ts@nihon-u.ac.jp URL:https://www.dent.nihon-u.ac.jp/

詳しい入試情報はWEBへ

日本大学歯学部専門学校

検索